

Question Answer

お口の健康そこが知りたい 47

協力・鶴岡地区歯科医師会

多くの歯が残せる様になったけれど

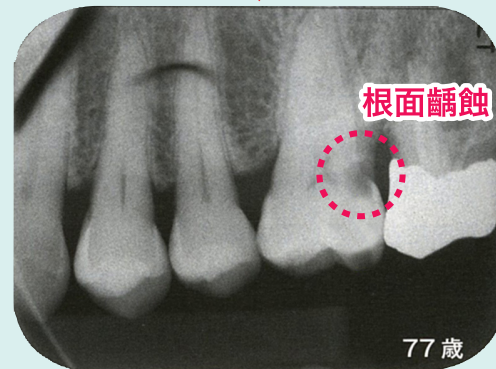
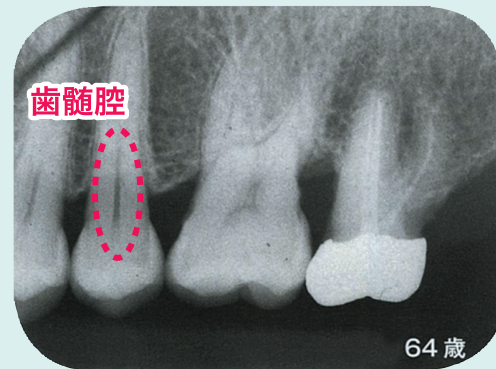
平成17年～23年の歯科疾患調査で80歳～84歳での残存歯は8・9本から12・2本まで増加しています。高齢になって多くの歯が残る事はいい事ですが、加齢に伴ったお口の変化によって残った歯が逆に問題を起す事も増えています。

歯も年を取る？

加齢から運動能力が低下し、プラークコントロールがうまく出来なくなって歯周病の進行や再発が増加します。また唾液量が減少してお口の乾燥から根面齲蝕^{うしよく}（根っこに出来る虫歯）が増えてきます。虫歯が進んでしまって歯髄炎になった時に歯髄腔（神経が入っている部分）が狭窄してしまい治療が難しくなってしまう症例も増えています。

高齢化を見据えたお口の健康管理

高齢者になっても健康なお口を維持するには、ただ多くの歯を残せる様にお口のケアを考えるのではなく、加齢による変化を先取りしたケアを継続していく必要があります。歯周病に対するホームケア能力を向上させる継続的なメンテナンスや根面齲蝕防止の為に飲食指導・フッ化物の適切な使用・唾液量のチェックなどを高齢者になる前から考えないといけない時代になってきた様です。



64歳から13年たち根面齲蝕が現れた患者さん